

# クリスマスの伝説

札幌たの授サークル用レポート

2001.12.22

仮説実験授業研究会・北海道

丸山 秀一

日本人のほとんどはキリスト教徒ではない（99%）のにも関わらず、クリスマスは西洋のキリスト教国のように日本でも最大のお祭りになりました。しかし西洋の「クリスマスの常識」を私たちはどれくらい持っているのでしょうか。

いつもたのしい話題を提供してくれる小笠原智さんが「キャンディ・ケーンには宗教的な意味があるらしい」と教えてくれました。これは、調べるしかないぞ。今月は「クリスマス・サークル」だし！



[ 質問 ]

あなたはクリスマス飾りの一種である「キャンディ・ケーン（杖）」を知っていますか。知っていることがあったら、出し合いしましょう。出し合いしましょう。

## キャンディ・ケーンと聖書

「キャンディ・ケーンの形は、羊飼いの杖。さかさまにして「J」(Jesus: イエスの頭文字)。硬さは、堅い信仰。白色は純潔さ、赤い線は十字架で流した血の色表わしています」というのが西洋での「常識」のようです。この伝説はすべて聖書からの引用で作られています。

### ・羊飼いの杖

イエスが降誕したとき、まっさきに駆けつけてその誕生をお祝いした羊飼い達(「ルカによる福音書」2章16節)の杖。イエスは「迷える子羊」のための羊飼いでもある。

### ・ J の字

「救世主イエス(Jesus)」の頭文字(「使徒行伝」4章12節)。

### ・ 硬さ

「ゆるぎない岩」つまり、教会の基礎(「マタイによる福音書」16章18節)と神の約束の固さ(「テサロニケへの第1の手紙」5章24節) イエスへの信仰の固さ(「ベブル人への手紙」4章15節)。

### ・ 白色

イエス降誕の純潔さ(「マタイによる福音書」1章23節)(「ヨハネの黙示録」7章14節)。

### ・ 赤い線

十字架に架けられた時のイエスの血(「エペソ人への手紙」1章7節)。

### ・ 味

ペパーミントの味で浄化と犠牲の象徴として使われていた

もの。イエスが人々の罪を一身に背負って十字架にかけられ（「マタイによる福音書」27章35節）、そして浄化されて復活した（「マタイによる福音書」28章6節）（「使徒行伝」4章10節）。



つまりキャンディ・ケーンは、「形でイエスが「神の子羊」として生まれたことを表し、その模様と色で純潔を守り、世界の罪を引き受けて苦しみを受け入れたことを示し、その味でイエスの自己犠牲と浄化と復活を表している」ということなのだそうです。

#### [ 質問 ]

キャンディ・ケーンについてのこの話はほんとうなのでしょう  
か。キャンディ・ケーンはいつ頃からあると思いますか。

予想

- ア キリスト教の初期から
- イ 百年前から
- ウ 100年ほど前から
- イ つい最近から

## 最初のキャンディ・ケーン

1600年代、ヨーロッパの人々がクリスマス・ツリーを飾るようになったとき、その飾りとしてクッキーやキャンディなどの食べ物がよく使われました。このときに使われるようになったのが、まっすぐなキャンディ・ケーンです。

1670年頃、ドイツのケルン大聖堂の聖歌隊長が羊飼いの杖の形になるように、キャンディ・ケーンの先端を曲げたものを、聖堂に来た子どもたちに配りました。

## [質問]

さて1600年代のキャンディ・ケーンには赤のストライプがついていたのでしょうか。

## 予想

- ア 最初からついていた
- イ 曲げられたものからついていた
- ウ ついていなかった

もしストライプがついていなかったとしたら、ストライプがついたのはいつ頃のことだと思いますか。

### 「インディアナの菓子職人」

伝説では、現在のキャンディ・ケーンは、「聖書よりキリストの生と死と業績を含めて、クリスマスのために米国インディアナの菓子職人が作った」ということになっています。しかし、これは本当ではありません。

キャンディ・ケーンは、ただの白いキャンディーで、それに赤のストライプがつけられたのは、1900年代に入ってからなのです。そこには、特別な意味などありません。しかし、この伝説は「本当の話」として広く伝わっています。それは宗教的配慮からなのでしょう。現在のキャンディ・ケーンには様々な色・形・大きさのものがあります。



### 〔質問〕

イエスが誕生したときに、「羊飼い」たちだけでなく、「東方の三賢者がらくだに乗ってお祝いにやってきた」というのは有名な話です。さて、その話は聖書に書かれている通りだと思いますか。

### 予想

- ア 聖書にそう書かれている
- イ 違うように書かれている
- ウ 全く書かれていない

## 東方の三賢者



「マタイによる福音書」  
(2章1節)にはこうあり  
ます。「イエスが生まれたと  
き、東方からエルサレムに  
賢者たちがやってきた」聖

書には、「賢者が三人である」とも「らくだに乗ってきた」とも書  
いてはいないのです。しかも、賢者がイエスに会ったのは、イエ  
スが生まれた馬小屋ではありません。

「賢者達は家の中に入り、母マリアと一緒に幼子を見た。そし  
てひれ伏して彼に礼拝した・・・」(2章11節)

彼らは家の中で、生まれたばかりの「乳児」(infant)ではなく、  
「小さな子ども」(young child)のイエスと対面したのです。だ  
から彼らは誕生から何日かたってから来たこととなります。それ  
もおそらく徒歩で。「ルカによる福音書」(2章)によると、イエ  
スが馬小屋で誕生したときにやってきたのは、賢者ではなく羊飼  
いたちです。

### [質問]

そもそも、イエス・キリストは本当に12月25日に生まれたの  
でしょうか。

### 予想

- ア たしかな証拠がある
- イ 証拠はないがそのあたりに生まれた
- ウ そのほか

## キリストの誕生日

キリストが生まれた日付はわかっていません。初期のキリスト教徒はイエスの死と復活を中心に布教し、誕生は重視しなかったからです。「ルカ伝」によると、「(羊飼いたちは)野宿して、夜は羊の群を見張っていた」とあります。それはふつう春に行われることで、冬は羊は畜舎の中です。だからきっとキリストは春に生まれたのでしょう。

それでは、なぜクリスマスは12月25日なのでしょう。300年代ローマでは政治的判断から、キリスト教徒の祝祭日をミトラス教徒の太陽崇拝の日と結合し、その後ミトラス教の祝日「不滅の太陽の生誕日」である12月25日がキリストの誕生日として解釈され制度化されました。



### [ 質問 ]

クリスマスにはサンタクロースがつきものですが、現代のサンタクロースのイメージはコカ・コーラ社が作ったというのは本当だと思いますか。

予想

ア 本当

イ 嘘

## コカ・コーラ社の宣伝

1930年代の初期、コカ・コーラ社は冬期間の売り上げ増に結びつける広告として、サンタクロースをキャラクターに導入しました。サンタの衣装の白と赤はコカ・コーラ社の色でもあったのです。しかし、このイメージを作ったのはコカ・コーラ社ではありません。「陽気で赤ら顔で袋を背負った赤い服と白いひげ」のサンタのイメージは1920年代にはすでに定着していたのです。

しかしコカ・コーラ社のこの宣伝によって、現代のサンタクロースのイメージがより一層広まったことは間違いありません。

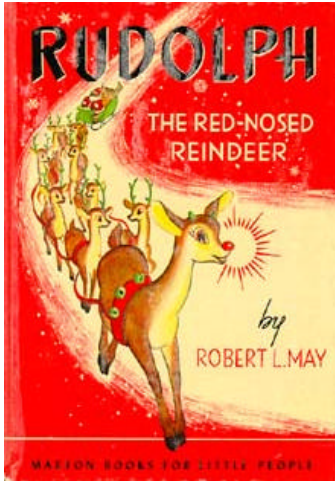
### [質問]

「赤鼻のトナカイ」はクリスマスの有名な歌です。あなたのこのトナカイの名前を知っていますか。そのトナカイの名前は「ルドルフ」といいます。ではルドルフを創造したのは誰だったと思いますか。



予想

- ア キリスト教関係者
- イ キリスト教以外の宗教から
- ウ コカ・コーラ社
- エ コカ・コーラ以外の商業関係者



## 赤鼻のトナカイ

「ルドルフ」というキャラクターを創造したのは、デパート・チェーンのモンゴメリー・ウォード社のロバート・メイというコピーライターです。このデパートでは、毎年クリスマスにたくさんの絵本を配ることをしていたので、その絵本を自社でつくることになったわけです。1939年に『赤鼻のトナカイ ルドルフ』は、240万冊を発行しました。その後ルドルフは、歌や舞台にも取り上げられました。「赤鼻のトナカイ」の歌は、1949年に200万枚を売り上げました。その後300を越えるカバー曲を含めて4000万枚も売れたのです。

なおこの歌の歌詞では、8頭のトナカイの名前が「Dasher, Dancer, Prancer, Vixen, Comet, Cupid, Donner, Blitzen」となっていますが、もともとの名前は最後の二頭が「Dunder, Blixem」だそうです。

### [質問]

サンタのトナカイの性別はどうなっているでしょうか。

予想

- ア すべてオス
- イ すべてメス
- ウ 混合

オス?メス?



サンタのそりを引くトナカイには立派な角が生えています。しかし、ふつうのオスのトナカイは冬(遅くとも12月中旬まで)に角を落とすのです。ですから冬に角をつけているトナカイはメスだけです。しかし、ルドルフなどは男の名前です。

[質問]

クリスマスのことを英語で書くと「Christmas」となりますが、「Xmas」という書き方もあります。「Xmas」の意味はなんなのでしょうか。

予想

- ア Xmas は Christmas の省略で、正確には X'mas と書く
- イ X は特別な日を表す記号
- ウ Xmas は Christmas を軽視した現代の書き方
- エ ふたつは全く同じ
- オ そのほか

## Xmas の X

Xmas の X はキリストを表します。それは X が十字架に似ているからです。そして、ギリシャ語での Christ は Chi となりますが、それを表すギリシャ文字は X に似ています。そこで欧米では



Christ の代わりに X を使うことがよくあるのです。Xian というと Christian という意味となります。

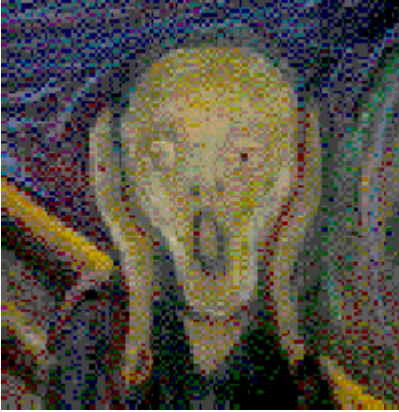
このように Xmas という書き方は古代からのもので、そこに蔑視的な意味合いはありません。ただ X は何かを省略したものではありませんから、日本でよく使われる「X'mas」という書き方は間違いです。

## [ 質問 ]

欧米では一般に「クリスマス・シーズンには自殺者が急増する」と言われています。これは事実だと思いますか。

## 予想

- ア 事実そのとおり
- イ ふだんと変わらない
- ウ むしろ減少する



## 自殺者とクリスマス

この伝説はミネソタ州のメイヨー病院が「クリスマスシーズンには自殺者が増加する」と発表したことから始まりました。

しかし、12月と1月の自殺者の数は他の月に比べて決して多くはありません。それどころか平均を下回っています。人々はクリスマス準備の忙しさからのストレスでこの伝説を信じているよう

です。

### [ 質問 ]

あなたは次のような話を聞いたことがありますか。

「クリスマスなのに、父親は妻と子どもを残して出張しなければなりません。しかし、その途中で彼は仕事をキャンセルして、サンタの格好をして家族を驚かしてやろうと内緒で家に戻ります。彼はクリスマス・イブに屋根によじ登り、煙突の中を滑り落ちようとしてました。不幸にも、彼は途中で引っかかって、呼吸困難で死んでしまいました。その後、ヨールログ（イブに燃やす薪）に火をつけた家族は、異臭がするのに気がつくのでした。」

この話は本当にあったことだと思いますか。

予想

ア 事実

イ 事実ではない



## クリスマスの怪談

この「怪談」は、「グレムリン」という映画でも使われました。しかし、これは実際にあった話ではありません。「サンタが煙突で詰まる」話は、たくさん書かれていますので、そこから発展したものなのでしょう。

### [質問]

クリスマスといえば、ポインセチアが有名です。ポインセチアは欧米では有毒だといわれているのですが、本当でしょうか。

予想

- ア 猛毒
- イ 多少毒性がある
- ウ 毒ではない



### ポインセチア有毒説

「毎年数人の子どもがポインセチアを少しかじって死んでいる」という伝説があるそうです。しかし、これは事実ではありません。この伝説は、1919年に二歳の子どものが有毒物質を食べて死亡した原因を不正確に「ポインセチアの葉」とされたのがきっかけです。たしかにトウダイクサ科には有毒植物が多いのですが、ポインセチアは無害です。子どもが500枚から600枚の葉を食べても何ともないのです。

ポインセチアはメキシコ原産で、「キリストの誕生日になにも捧げるものがない貧乏な少年が雑草で花束を作って祭壇に捧げたところ、それがポインセチアになった」として奇跡の花といわれています。

## クリスマスの伝説



クリスマスの伝説はこのほかにもたくさんあります。これらの伝説は、おもに「都会の伝説事典」というサイトからのものです。そこには「日本でははりつけになったサンタを飾る」なんてのもありました。こういったことについてのサイトの多くは、キリスト教布教のためですので、ほとんど信用がおけないものばかりですが、このサイトの内容は、出典もはっきりと明記されていて信用がおけます。図のほとんどはこのサイトからのものです。

## 文献

- ・『スーパー・ニッポニカ』小学館
- ・Urban Legends Reference Pages (英文)  
<http://www.snopes2.com/holidays/christmas/>
- ・ The Story of the Candy Cane (英文)  
キャンディ・ケーンについて別の伝説が載っている。  
<http://denig.com/cooking/candycane.html>
- ・ クリスマス小辞典  
教会関係者のサイト。

<http://freepages.cultures.rootsweb.com/~xmas/dictionary/candycane.htm>

丸山 秀一

[kasetsu.maruyama@nifty.com](mailto:kasetsu.maruyama@nifty.com)